

普及指導員調査研究報告書

所 属 名：山口県農林総合技術センター技術指導室

担当者名：小杉 真樹

課題名	高糖分飼料用イネ「たちすずか」の実証ほの成績検討と普及																																																															
1 調査研究チームの構成	畜産振興課、各農林事務所農業部・畜産部、農林総合技術センター農業技術部・畜産技術部・技術指導室																																																															
2 課題の目的	飼料自給率の向上を図るため、自給飼料の利用の拡大が求められており、特に水田や既存技術の活用が可能な飼料用イネ(WCS)に注目が集まっている。さらに、安定したWCS収量を確保するため、WCS専用品種の作付比率を高める必要があることから、作付誘導の第1ステップとして、高糖分飼料用イネ「たちすずか」の実証ほを県内8ヶ所に設置し、各地域における適応性を確認した。																																																															
3 調査研究期間	平成24年5月～平成25年1月																																																															
4 調査研究の対象地域・場所	下表のとおり、各農林事務所に栽培実証ほを8ヶ所設置した。 <table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>農林事務所</th><th>対象農家</th><th>調査場所</th><th>設置面積(a)</th><th>標高(m)</th><th>地帯</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>岩国</td><td>農家SS</td><td>岩国市美和町</td><td>47</td><td>170</td><td>周防山間</td></tr><tr><td>2</td><td>柳井</td><td>農家ST</td><td>柳井市伊保庄</td><td>50</td><td>2</td><td>瀬戸内東部</td></tr><tr><td>3</td><td>周南</td><td>農家TT</td><td>周南市中野</td><td>86</td><td>286</td><td>瀬戸内東部</td></tr><tr><td>4</td><td>山口</td><td>(農)K</td><td>山口市深溝</td><td>1,012</td><td>4</td><td>瀬戸内西部</td></tr><tr><td>5</td><td>美祢</td><td>(農)FI</td><td>美祢市美東町</td><td>4,337</td><td>200</td><td>長門中間</td></tr><tr><td>6</td><td>下関</td><td>農家IT</td><td>下関市菊川町</td><td>100</td><td>23</td><td>長門中間</td></tr><tr><td>7</td><td>長門</td><td>T飼料組合</td><td>長門市三隅</td><td>975</td><td>20</td><td>北浦</td></tr><tr><td>8</td><td>萩</td><td>(農)A</td><td>阿武町福田下</td><td>106</td><td>400</td><td>北浦</td></tr></tbody></table>	番号	農林事務所	対象農家	調査場所	設置面積(a)	標高(m)	地帯	1	岩国	農家SS	岩国市美和町	47	170	周防山間	2	柳井	農家ST	柳井市伊保庄	50	2	瀬戸内東部	3	周南	農家TT	周南市中野	86	286	瀬戸内東部	4	山口	(農)K	山口市深溝	1,012	4	瀬戸内西部	5	美祢	(農)FI	美祢市美東町	4,337	200	長門中間	6	下関	農家IT	下関市菊川町	100	23	長門中間	7	長門	T飼料組合	長門市三隅	975	20	北浦	8	萩	(農)A	阿武町福田下	106	400	北浦
番号	農林事務所	対象農家	調査場所	設置面積(a)	標高(m)	地帯																																																										
1	岩国	農家SS	岩国市美和町	47	170	周防山間																																																										
2	柳井	農家ST	柳井市伊保庄	50	2	瀬戸内東部																																																										
3	周南	農家TT	周南市中野	86	286	瀬戸内東部																																																										
4	山口	(農)K	山口市深溝	1,012	4	瀬戸内西部																																																										
5	美祢	(農)FI	美祢市美東町	4,337	200	長門中間																																																										
6	下関	農家IT	下関市菊川町	100	23	長門中間																																																										
7	長門	T飼料組合	長門市三隅	975	20	北浦																																																										
8	萩	(農)A	阿武町福田下	106	400	北浦																																																										
5 調査研究方法の概要	<p>(1) 設置計画検討会の開催 平成24年4月に、県関係者による設置検討会を開催し、「たちすずか」の栽培特性の周知徹底を行った。</p> <p>(2) 現地検討会の開催 栽培期間の概ね半分の時期となる7月下旬(延べ4日間)に、県関係者と対象農家による現地検討会を開催し、生育状況の確認や今後の管理方法の検討を行った。</p> <p>(3) 成績検討会の開催 平成25年1月に、県関係者による成績検討会を開催し、生育調査や成熟期調査の成績の検討を行った。</p>																																																															

6 結果の概要、成果

生育ステージの進捗状況、WCSの収量・品質・栄養成分については、以下の表のとおりである。

番号	農林事務所	播種期	移植期	出穂期	収穫期	原物収量 (kg/10a)	品質 評価	pH	水分 (%)	DCP (乾物中%)	TDN (乾物中%)
1	岩国	4月10日	5月17日	8月30日	9月30日	1,717	A	6.3	33.0	3.6	55.3
2	柳井	5月25日	6月25日	9月9日	10月15日	1,550	A	6.4	47.3	3.7	58.1
3	周南	4月30日	5月28日	9月1日	10月5日	1,603	A	5.5	73.2	5.1	52.8
4	山口	6月1日	直播	9月6日	10月5日	3,024	A	3.8	65.9	3.9	57.0
5	美祢	5月17日	6月16日	9月3日	10月10日	2,808	A	4.2	70.2	4.2	55.2
6	下関	5月30日	6月23日	9月7日	10月29日	1,935	A	3.9	62.9	2.7	53.8
7	長門	5月18日	直播	9月6日	10月13日	1,108	A	6.1	45.0	3.2	56.9
8	萩	4月9日	5月14日	8月20日	10月10日	3,083	A	4.2	61.9	2.3	53.9
平均						2,104					

- 岩国農林：収量は高く、予乾が十分にできており、WCSの品質も良好であった。草丈が高く、既存のコンバインでは収穫が難しく、モア等で2段刈りを実施した。
- 柳井農林：苗の活着が悪く、雑草も繁茂した。収量は当該品種にしては、やや低かったが、WCSの品質は良好であった。
- 周南農林：山間地域のため水が冷たく、日照も悪いことから生育は悪く、収量は低かったが、WCSの品質は良好であった。
- 山口農林：不耕起乾田直播により播種し、今年度導入した汎用型飼料収穫機によりロールベールを作製した。収量は高く、WCSの品質も良好であった。
- 美祢農林：稚苗移植区と直播区を設置して試験的に実施した。両区ともに収量は高く、WCSの品質も良好であった。
- 下関農林：やや粗植気味で、欠株も見られたが、収量は並みで、WCSの品質も良好であった。WCSは乳用牛に給与され、嗜好性も良好である。
- 長門農林：耕起乾田直播により播種し、生育量がやや低かったことから、収量は低くなったが、予乾が十分にできており、WCSの品質は良好であった。
- 萩農林：標高が高く冷涼な気候であることから生育量の確保が危惧されたが、収量は高く、WCSの品質も良好であった。
- まとめ：肥培管理や気候条件の影響から、収量に課題のあるほ場もあったが、平均収量は2t/10a以上と高かった。WCSの品質も総じて良好であり、一部特定の地域を除き、県内における当該品種の適応性が確認された。

7 今後の問題点

「たちすずか」は、品種特性から給与上は優れているが、種子生産性は劣るという欠点があり、(社)日本草地種子協会より、種子の全国流通は難しいとの方針がだされた。

このことから、平成25年度以降の種子確保については、「たちすずか」に先進的に取組み、種子供給システムを確立している広島県から有償提供を受けるとともに、一部は平成24年度から試験的に取り組んだ自家採種で賄っていく。

8 普及活動上の留意点

次年度以降も、設置計画検討会、現地検討会、成績検討会において技術指導を行っていくとともに、実証ほの成績や農業技術部における栽培試験成績をとりまとめ、農林事務所と連携して「たちすずか」のPRを行っていく。